

## 平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月1日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ニューテック

コード番号 6734 URL <http://www.newtech.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠原 康人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 宮崎 有美子

TEL 03-5777-0888

四半期報告書提出予定日 平成22年10月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第2四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	1,125	△15.3	△23	—	△31	—	△18	—
22年2月期第2四半期	1,328	2.6	△18	—	△24	—	△14	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	△9.49	—
22年2月期第2四半期	△7.23	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	2,563	1,170	45.7	610.38
22年2月期	2,698	1,187	44.0	619.30

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 1,170百万円 22年2月期 1,187百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

現時点では、平成23年2月期の配当予想額は未定であり、確定しだい適時に開示してまいります。

### 3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,735	6.8	48	—	37	990.2	41	86.1	21.61

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期2Q 2,081,000株 22年2月期 2,081,000株

② 期末自己株式数 23年2月期2Q 164,020株 22年2月期 164,020株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期2Q 1,916,980株 22年2月期2Q 1,975,547株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれております。今後の経済情勢等、様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円高の進行による輸出企業の業績低迷に加え、不安定な政治情勢や雇用の悪化による消費の低迷が続いたことで、不況感が支配的でありました。政府による、子供手当やエコカー減税等の大規模な財政出動も実施されましたが、实体经济に影響を及ぼすには至りませんでした。

こうした状況の中、国内IT関連投資に関しては、一般的に投資金額の減少が続いております。また、絞り込まれたIT関連投資案件の実施に際しても、ユーザーの選別投資の強化及びコスト抑制圧力は以前に増して強くなるなど、回復の兆しが見られた設備投資需要は相変わらず抑制が続いており、ストレージ業界を取り巻く環境はますます厳しさを増しております。

このような環境の下、当社では引き続きOEM及び標準採用製品の事業拡大に注力するとともに、主力製品の機能を強化したSupremacy IIの販売強化、ストレージ製品の高付加価値化に寄与するソリューション販売（サーバー、ストレージ及びソフトウェアを組み合わせて、システムとして納入する販売形態）の販売強化、及びサポート・サービスの充実に継続して取り組んでまいりました。また、OEM向けの新規事業として小型ストレージサーバの開発に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,125百万円(前年同期比△15.3%)となりました。製品売上に関しては、OEM向けの製品（ミラー製品や小型ストレージサーバ）及び標準採用製品の出荷は堅調に推移したものの、主に設備投資抑制を受けやすいメーカー直系の案件が、不振でありました。このため、ストレージ本体及び周辺機器を含む製品の売上高は739百万円と、周辺機器の前年同期比△82.9%も影響し、全体で前年同期比△21.1%でありました。

一方、損益面につきましては、売上高が前年比減少したものの、製造コストの削減、販売管理費の削減により、損失幅は微増に収まり、営業損失23百万円(前年同期は営業損失18百万円)、経常損失31百万円(前年同期は経常損失24百万円)、四半期純損失18百万円(前年同期は四半期純損失14百万円)となりました。

品目別の販売実績は、次のとおりであります。

品目別	期別		前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前事業年度	
			自平成21年3月1日 至平成21年8月31日		自平成22年3月1日 至平成22年8月31日		自平成21年3月1日 至平成22年2月28日	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
ストレージ本体	743	3.6	706	△4.9	1,525	△1.5		
周辺機器	194	19.0	33	△82.9	253	△13.7		
製品小計	937	6.4	739	△21.1	1,778	△3.4		
商品	219	14.9	218	△0.1	452	0.2		
サービス	171	△23.2	166	△3.3	330	△15.5		
合計	1,328	2.6	1,125	△15.3	2,561	△4.6		

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、前事業年度末と比較して135百万円減少し、2,563百万円となりました。変動の主なものは、現金及び預金の232百万円の減少、売上債権等の23百万円の増加、たな卸資産の37百万円の増加、繰延税金資産の37百万円の増加であります。

負債は前事業年度末と比較して117百万円減少し、1,393百万円となりました。変動の主なものは、買掛金の36百万円の減少、借入金（1年以内長期借入金及び長期借入金の合計）の147百万円の減少、前受収益の43百万円の増加であります。

純資産は前事業年度末と比較して17百万円減少し、1,170百万円となりました。変動の主なものは、利益剰余金の18百万円の減少であります。1株当たりの純資産は前事業年度末と比較して8円92銭減少し、610円38銭となり、自己資本比率は45.7%となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ232百万円減少の1,146百万円となりました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は70百万円となりました。主な資金減少要因は、税引前四半期純損失31百万円、売上債権の増加23百万円、たな卸資産の増加39百万円、仕入債務の減少36百万円等であり、主な資金増加要因は減価償却費16百万円、その他の増加43百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は14百万円となりました。これは主に検査用測定器等の有形固定資産の取得5百万円、生産用ソフトウェアの取得8百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は147百万円となりました。主な資金減少要因は、長期借入金の返済による純支出額147百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期通期の業績予想は現時点で変更ありません。

## 2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計基準等の改正に伴う変更

該当事項はありません。

②会計基準等の改正に伴う変更以外の変更

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,146,852	1,379,676
受取手形及び売掛金	652,487	628,691
有価証券	100,525	—
商品及び製品	67,344	40,496
仕掛品	52,240	49,864
原材料	199,552	190,842
繰延税金資産	87,924	50,153
その他	42,372	43,294
貸倒引当金	△141	△141
流動資産合計	2,349,157	2,382,878
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	21,253	23,354
工具、器具及び備品(純額)	30,406	33,396
有形固定資産合計	51,660	56,750
無形固定資産		
その他	28,360	24,605
無形固定資産合計	28,360	24,605
投資その他の資産		
投資有価証券	69,700	168,375
差入保証金	55,270	55,270
その他	8,975	10,287
投資その他の資産合計	133,946	233,933
固定資産合計	213,967	315,289
資産合計	2,563,124	2,698,168
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	217,289	253,331
1年内返済予定の長期借入金	514,542	540,674
未払金	85,105	60,524
未払法人税等	27,508	5,584
製品保証引当金	23,964	23,337
前受収益	171,161	127,219
その他	10,712	36,064
流動負債合計	1,050,284	1,046,735
固定負債		
長期借入金	342,751	464,247
固定負債合計	342,751	464,247
負債合計	1,393,035	1,510,982

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	496,310	496,310
資本剰余金	608,360	608,360
利益剰余金	148,879	167,073
自己株式	△78,213	△78,213
株主資本合計	1,175,336	1,193,529
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,246	△6,343
評価・換算差額等合計	△5,246	△6,343
純資産合計	1,170,089	1,187,186
負債純資産合計	2,563,124	2,698,168

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	1,328,431	1,125,035
売上原価	933,409	770,464
売上総利益	395,021	354,571
販売費及び一般管理費	413,720	378,380
営業損失(△)	△18,698	△23,808
営業外収益		
受取利息	697	1,227
受取配当金	500	500
為替差益	1,087	505
協賛金収入	1,537	—
還付消費税等	3,009	—
その他	1,011	590
営業外収益合計	7,842	2,824
営業外費用		
支払利息	11,258	7,300
過年度消費税調整額	—	2,548
その他	2,224	1,027
営業外費用合計	13,482	10,877
経常損失(△)	△24,339	△31,861
税引前四半期純損失(△)	△24,339	△31,861
法人税、住民税及び事業税	1,620	14,328
法人税等還付税額	△1,283	—
過年度法人税等	—	9,408
法人税等調整額	△10,401	△37,404
法人税等合計	△10,064	△13,668
四半期純損失(△)	△14,274	△18,193



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△24,339	△31,861
減価償却費	20,107	16,864
受取利息及び受取配当金	△1,197	△1,727
支払利息	11,258	7,300
製品保証引当金の増減額(△は減少)	4,083	627
売上債権の増減額(△は増加)	174,593	△23,795
たな卸資産の増減額(△は増加)	45,740	△39,462
仕入債務の増減額(△は減少)	△204,738	△36,042
その他	48,281	43,200
小計	73,789	△64,896
利息及び配当金の受取額	1,197	1,727
利息の支払額	△11,212	△7,154
法人税等の支払額	△727	△1,900
法人税等の還付額	10,260	1,439
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,308	△70,783
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△18,346	△5,713
無形固定資産の取得による支出	△323	△8,585
投資有価証券の取得による支出	△100,769	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,438	△14,298
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	300,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△333,724	△297,628
自己株式の取得による支出	△59,327	—
配当金の支払額	△194	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,245	△147,743
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△39,375	△232,824
現金及び現金同等物の期首残高	1,501,879	1,379,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,462,503	1,146,852

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。